

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ (第264回)

日時 平成30年9月25日(火) 午後1時半～3時半
場所 参議院議員会館 地下1階 B101会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B101会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議題
- 1、最近の交通情勢について
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、チャイルドシートの使用状況等について
 - 3、自動運転に関する警察庁の取組について
 - 4、交通事故統計(7月、8月中及び9月24日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報告 去る7月24日開催の第263回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。ここ1週間の猛暑で、2万人が救急搬送、65人が死亡した。熱中症による死者数の急増がクローズアップされたのは2010年で、この時は当時観測史上1位の猛暑。7～9月に1745人もの死者を出した。この数はちょうど今年の現時点での交通事故死者数とほぼ同じ数である。世界的に気温は上昇傾向にあり、今年はどうなるか、注目している。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「チャイルドシートの使用状況等」について解説がありました。全国約100箇所
でチャイルドシートの着用状況の調査を行った。着用率は毎年微増しており、今回は66%。一方適切な取り付け、着座割合はいずれも半分を下回っている。ハーネス（安全帯）の不適切装着が最も多い。

次に、「自動運転に関する警察庁の取組」について解説がありました。警察庁としては、特に万が一の事故に際し、責任関係をどう整理するかに主眼を置いている。自動運転システム利用中の事故は、従来の運転者の責任となるが、システムがハッキングされた場合、セキュリティ対策をきちんと行っていなかった場合を除いて、盗難車による事故として対応することが妥当としている。特に需要の多そうな運送事業に関する法整備、記録されたデータの提出義務などの法整備も行う。

次に、「交通事故統計（6月末）」について、解説がありました。上半期の死者数は1603人で、前年比72人の減少。7月も減少傾向にあり、現時点で昨年よりも90人少ない。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出された。◎事故死者数が減ったのは喜ばしいが、飲酒運転による死者数が増えている。取り締まりを強化してもらいたい。◎チャイルドシートの正しいつけ方を教える指導員が、法律で決まっているわけではないが、自動車用品店や子供用品店などに1人は常駐し、指導を行っているようだ。◎今回の統計資料を見ても良く集計分析されており、これを全国の交通警察が参考にし、事故減少に貢献していると思うとの意見もあった。

★ 資料代 会員500円
次回、9月25日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
（その際の会費は二千元となります。）

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

H P <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp